

自転車通行環境を整備し、安全・快適な自転車歩行者道に変身

〔整備位置〕

一般国道 58号 沖縄県那覇市壺川
一般国道329号 沖縄県那覇市壺川
一般国道331号 沖縄県那覇市壺川～
那覇市赤嶺

〔状況〕

自歩道の不分離により、歩行者と自転車との通行錯綜

〔事故発生要因〕

歩行者と自転車の危険な通行錯綜によるヒヤリハットが発生

〔対策〕

- ①視覚的分離
- ②構造的分離
- ③自転車・歩行者共存空間

〔効果〕

歩道利用者(歩行者、自転車)の安全性の向上

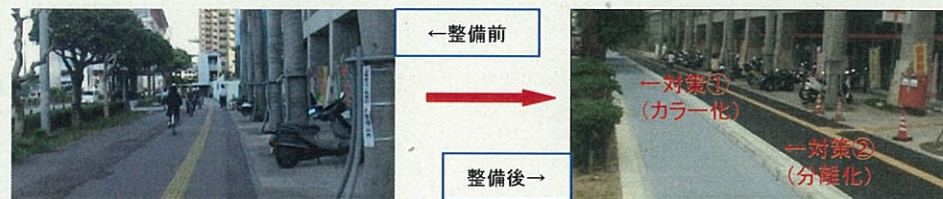
●位置図



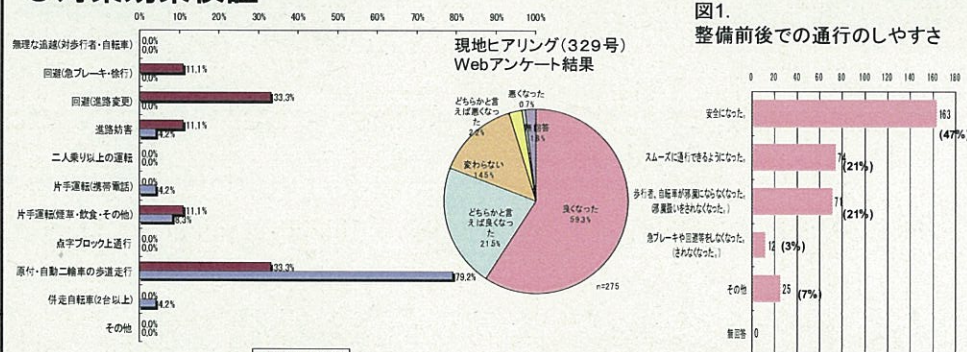
●対策内容

【対策①】視覚的分離: 自転車通行部分のカラー化

【対策②】構造的分離: 自転車専用通路の整備 【対策③】自転車・歩行者共存空間



●対策効果検証



●対策前状況



図 対策前の状況

・危険事象の減少が見られる。
図 対策後の発生状況比較

●ソフト施策

【概要①】那覇警察、県、地元自治体と連携、自転車通学の学生を対象に安全教育・指導。

【概要②】整備区間においてルール・マナー啓発チラシの配布を実施、自転車通行帯への誘導。

【概要③】自転車整備のPR及び利用マナーの啓発のため新聞掲載。

【学生を対象とした交通安全教育状況】



【整備区間においてのチラシ配布状況】

